

ボラセンだより

平成21年度 No. 2

ご存知ですか？ ボランティアセンターの

「ボランティアアドバイザー相談日」

毎週水曜日(13時～16時) 開催

朗読(音訳・読み聞かせ)・点字点訳・子育て支援など活動経験豊かなボランティアアドバイザーが、ボランティア活動に関する相談を受け付けます。

予約制ではありませんので、直接来所してください。5人のアドバイザーが交代で相談日に1人担当していますので、日によってアドバイザーが異なります。

「やってみよう! ボランティア体験の日」

月1回 水曜日(13時30分～15時) 開催

「読み聞かせ」や「点字点訳」など、毎月様々なテーマで開いています。

- * 詳細は、ボランティアセンターまで問い合わせください。
- * 今後の開催予定は、ホームページからもご覧いただけます。

宗像市ボランティアセンター

〒811 - 3437 福岡県宗像市久原180番地 市民活動交流館(メイトム宗像) 1階

TEL:0940(37)4100 FAX:0940(37)4101

URL:<http://www.city.munakata.fukuoka.jp/v-net>

E-mail:v-net@city.munakata.fukuoka.jp

開所時間

月曜日～金曜日および第1をのぞく土曜日 8:30～17:00

- * 一部保険手続きなど、土曜日に取り扱できないものがあります。
- * 不明な点は問い合わせください。



ニュース

新しい移送サービス車がやってきました

社会福祉協議会・ボランティアセンターでは、車イスに乗ったまま乗り降りできる福祉車両を貸し出しています。

この度「24 時間テレビチャリティー実行委員会」から、スロープ式の福祉車両の寄贈を受け、4月から稼働します。



車は普通車で、車イス利用者が2人まで乗車でき、最大5人乗車できます。

車イスを利用している家族や友だちとのちょっとした外出や1泊程度の旅行などに利用してください。

市内に在住で、外出時に車イスなどを必要とする人が利用できます。

ほっと・すぺーす



ボランティア活動への第一歩

「シニアボランティアスクール」を開催しました

このスクールは、これまでボランティア活動に参加する機会のなかったシニア世代の人たちに向けて開催しています。

今年は、基調講演にはじまり、「認知症サポーター養成」、「環境保全」、「子育て支援」に関する講座を2月3・10・17・24日の全4回に渡って行いました。

初日は、市民活動交流館（メイトム宗像）の館長が「ボランティアのすすめ」と題して講演。自分が活動をはじめたきっかけ、活動中での出会いや発見について話しました。また、住民を対象に行われた調査の結果から分かること（高齢者の増加、障がい者や高齢者などへの支援や、防犯・防災活動の支援を大切だと感じていること）から、今シニア世代の人たちに出来ることが沢山あることを力説。参加者に「一步を踏みだそう」と語りかけ、2日目以降の講座につながりました。

4日間を通して参加者からは、「こんな時はどう接したらよいか」「サービスがあっても存在を知らない人が多いので、知ってもらう工夫も必要」など活発な意見交換が行われました。講座終了後には、「活動を始めたい」と早速センターへ相談に来る人もいて、少しずつシニア世代のボランティア人口は増えているようです。



身近な「気づき」からボランティア活動が始まり、人が集まって大きな輪となっていきます。誰もが生活しやすい地域をめざして、みなさんから「何か手伝いましょうか」と声かけすることから始めてみませんか。

おもちゃ図書館 リニューアルオープン

～ 手作りの布絵本や木製おもちゃが たくさんそろっています ～

メイトム宗像から市保健福祉会館（ゆうゆうぷらざ）に場所を移し、4月15日（木）に開館します。

障害のある子どもや人におもちゃの素晴らしさ、遊びの楽しさを感じてもらうため、おもちゃで遊ぶ機会をつくり、家でも楽しく遊べるように貸し出しもします。施設や学校関係のみなさんにも貸し出します。ぜひ、利用してください。

4月開館日時 15日（木）と24日（土）午後2時～同4時
4月以降の開館 第3木曜・第4土曜の午後2時～同4時
場 所 ゆうゆうぷらざ1階 交流室2
問い合わせ 宗像市ボランティアセンター



おもちゃ図書館 ボランティアスタッフ募集！

おもちゃの整理や貸し出し作業、来館した子どもや保護者との交流が主な活動です。「できる人が、できることを、できる範囲で」がモットーです。興味のある人は見学も可能です。

申し込み・問い合わせ 宗像市ボランティアセンター

おもちゃの診察、治療（点検・修理）は「おもちゃ病院」へどうぞ！

～ 大切なおもちゃへ 再び命を吹き込みます ～

おもちゃドクターの手によって、思い出いっぱいのおもちゃを再びよみがえらせてみませんか？

不要になったおもちゃも集めています。「リユース・リサイクル活動」のひとつです。どうぞ、利用してください。

診察料

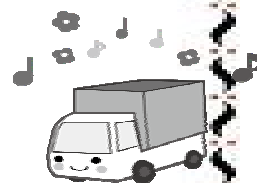
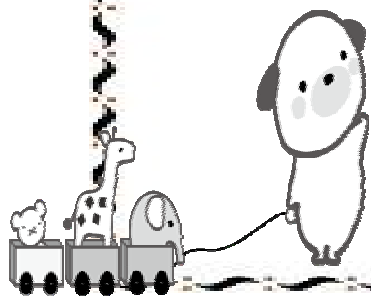
1点につき100円、部品代発生の際は利用者実費負担

その他

おもちゃによっては修理できない物もあります。ご了承ください。

問い合わせ

電話 090(9484)8676【おもちゃドクターの川崎正彦さんまで】



「ボランティア活動保険」の更新・新規加入について

「ボランティア活動保険」は、日本国内におけるボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして無償で活動するボランティアを補償する保険です。

「宗像市市民活動総合補償制度」と併用して加入することもできます。

平成21年度中に加入したボランティア活動保険は、3月31日で補償期間が終了します。更新・新規加入手続きは、3月16日から開始しています。

なお、ボランティア登録者に対して、保険料の一部助成があります。

加入手続きは、ボランティアセンターへ。
手続きの際は、印鑑（認印可）と保険料を持参してください。

「宗像市市民活動総合補償制度」のお知らせ

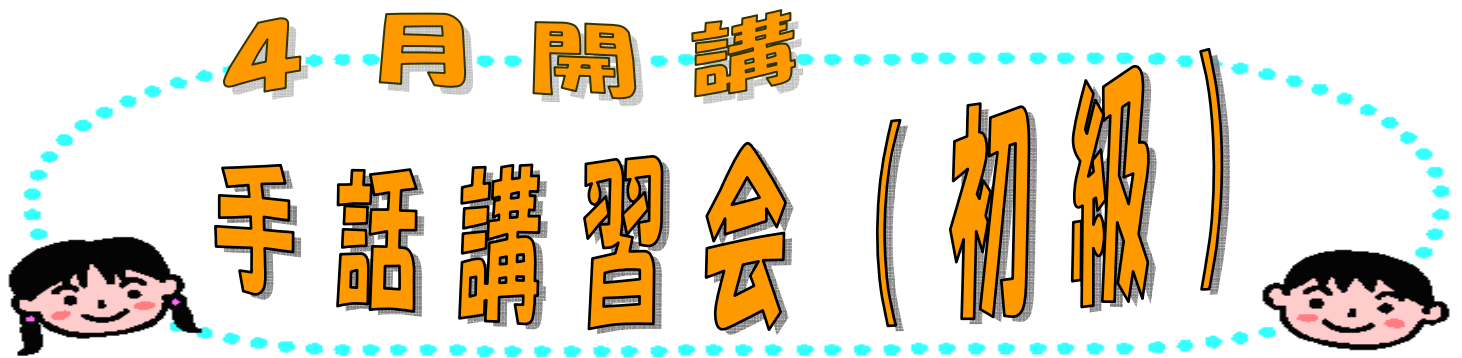
市民活動（ボランティア活動）中に起きた障害事故（活動者本人のケガ）と賠償事故（第三者にケガをさせた・他人のものを壊したなど）を補償します。

V-net に登録している提供ボランティアの個人は自動加入で、V-net に登録された活動であれば補償の対象となります。

窓口は、市民活動交流館（メイトム宗像）1階「宗像市役所 市民活動交流室」（36-0311）です。補償の範囲など詳細は問い合わせてください。



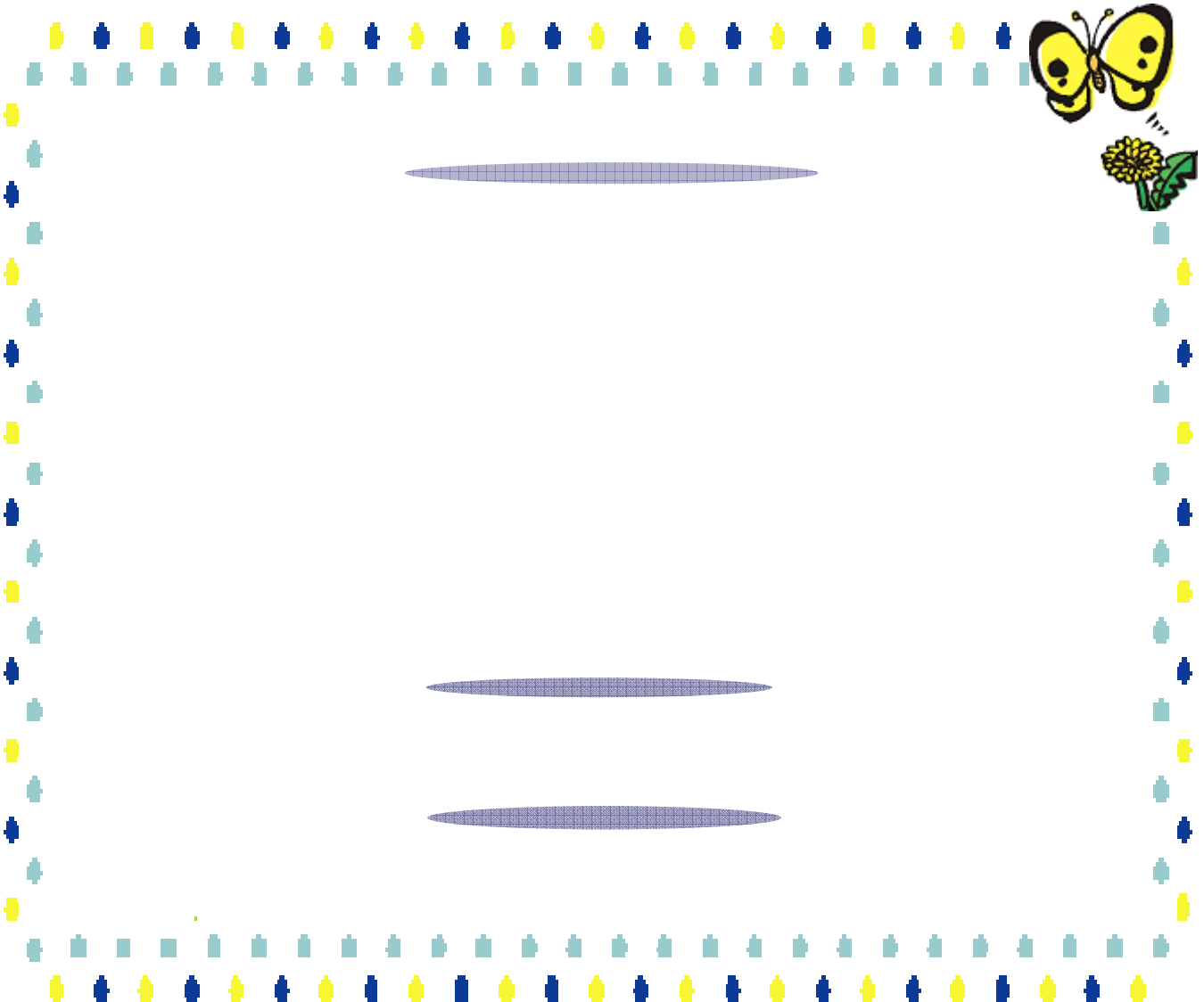
4月開講 手話講習会（初級）



今年も手話講習会を開催します。
手話をおぼえて、コミュニケーションの輪を広げてみませんか？

週1回、4月から翌年3月まで1年を通しての講座です。

会場・時間



中央公民館

* 火曜コース * 19:00~21:00 (初回 4月13日)

ゆうゆうぷらざ

* 水曜コース * 19:00~21:00 (初回 4月14日)

* 金曜コース * 13:30~15:00 (初回 4月16日)

メイトム宗像(市民活動交流館)

* 土曜コース * 13:00~15:00 (初回 4月17日)

受講料

全コース500円 (その他テキスト代として200円程度必要)

講師

* 火曜コース・土曜コース 手話サークル「シュワッチ」

* 木曜コース・金曜コース 玄海手話サークル「ゆび」



2009年 新規登録団体の紹介

2009年にV-netへ新しく登録した団体を紹介します。
地域や施設のイベント、勉強会などにボランティアを依頼してみませんか。

SHIBAZAKURA の会

(活動分野 : 文化・芸術活動の支援 ほか)

「布の花」(布を染色して創る花)の受講生が集まってできた会です。
8人で活動中。ヒーリングアートとして海外でも評価を得ている布の花は、やさしい色合いで人の心をなごませています。市内や北九州の公共施設には常設コーナーがあり季節ごとの空間アレンジを行っています。また、月に1回程度福祉施設で利用者の人と一緒に布の花を作るボランティア活動を行っています。



ひょっとこ楽座 アンディアーモ

(活動分野 : 上演・演奏活動)

現在3人で、楽器演奏を中心に民謡・合奏・演歌・ひょっとこ踊り・どじょうすくい等の披露で、楽しくおかしく、老人施設などを慰問しています。練習は毎週火曜夜6時00分から赤間コミュニティセンターで行っています。一緒に活動してくれる人(男性・女性各1人)募集中です。興味のある人、待っています。



民謡「吉武会」

(活動分野 : 上演・演奏活動 ほか)

むなかた学習ネットワークの民謡教室及び、日本民謡協会の会員として「古里の民謡(うた)」を各地のコンクール出場や、地域での慰問活動で楽しんでいる仲間です。

次世代に引き継ぐ先人たちの汗と苦勞の労働唄を、小中学生などにも広く知ってもらいたいと考えています。

あなたの古里の歌を大きな声で、みんなで唄いましょう。



ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像

(活動分野 : 環境・リサイクル)

ダンボール箱やコンポストなどを利用し、微生物のはたらきで生ゴミを分解して、堆肥にするしくみや方法を指導しています。人形(プラドール)を使った説明など、分かりやすく楽しく教えます。一緒にゴミの減量化や資源化・環境について考えてみませんか。

